

## 箱根町行財政運営を考える町民会議 平成29年度第1回会議報告書

日 時：平成29年5月19日（金曜日）15：00～17：30  
 場 所：箱根町役場本庁舎4階 第1～3会議室、第1・2委員会室  
 出席者：【箱根町行財政運営を考える町民会議】  
 〔委員〕  
 内田良雄委員、勝俣賀寿代委員、安藤雅章委員、勝又 實委員、  
 中村光章委員、倉田義巳委員、高橋 始委員、鈴木茂男委員  
 勝俣昭彦委員、中里健次委員、酒寄繁基委員、高橋典之委員、  
 勝俣昌美委員、澤村吉之委員、杉山慎吾委員  
 〔ファシリテーター・アドバイザー〕  
 田中 啓教授、高井 正教授、池島祥文准教授  
 〔町〕  
 吉田功企画観光部長、對木総務部長、  
 吉田朋正財務課長、杉本税務課長、  
 村山企画課長、伊藤企画課副課長、辻満、海野

### 【会議概要】

#### 1 開会

企画課長

それでは、平成29年度第1回箱根町行財政運営を考える町民会議を開催します。会議に先立ち、資料の確認をさせていただきます。資料は事前に「会議次第」、「委員名簿」、「席次表」、「資料1 アンケート集計結果」、「資料2 町民会議の今後の進め方について」、「資料3 平成28年度第4回町民会議の発言内容等に対する補足説明について」を送付していますが過不足等ございませんか。なお、この町民会議は公開で行いますのでご承知おきください。

早速ですが開会に当たり、町民会議のファシリテーターである田中教授からご挨拶をいただき、引き続き議事の進行をお願いします。

ファシリテーター

委員の皆様、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

委員の任期は2年間ですが、前回の会議で町側としては、年内に何らかの意見の取りまとめを期待しているということを説明させて頂きました。

その意味では、今年が取りまとめの年になりますので、引き続き皆さんから活発なご意見をいただきたいと思います。

## 2 議 題

### (1) 町民会議の今後の進め方について

ファシリテーター

それでは、早速、議題に入りたいと思います。  
次第の議題1「町民会議の今後の進め方について」に入りたいと思います。  
前回の会議で、今後の進め方について意見交換を行いました  
が、私の提案で、その後、皆さんにアンケートにご協力いただきました。  
まず、その結果について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局

事務局から、資料1「町民会議に参加された感想と来年度の町民会議の進め方に関するアンケート調査結果」をもとに、アンケート集計結果について説明した。

ファシリテーター

事務局から資料1のアンケート集計結果は、皆さんが回答した記述をほぼそのまま掲載していると聞いております。  
また、15名の委員中10名の方から回答がありましたが、回答されていない方は、ご自身のお考えはあるとは思いますが、基本的には強い意見がないため回答していないと捉えております。  
その上で、回答結果を大まかにまとめると、まず、町民会議を開催し、意見交換すること自体は、有意義であるという意見が多かったと思います。  
一方で、説明を受け質問と意見交換を行い、次の説明という進め方では、なかなか議論が深まらず、具体的な提案につながる成果が見えてこないという点では若干、不十分、物足りないという意見もありました。  
また、昨年度、第3回の町民会議において委員全員に発言していただいた内容をもとに3つのテーマに整理しましたが、これは、このまま活かして良いのではないかと。  
さらに、町民会議の最終結果については、何らかの形で取りまとめた方が良いという意見とともに、町民会議は、今回だけではなく、今後も何らかの形で継続したほうが良いという提案もあったかと思っております。

アンケート結果、これまでの町民会議での意見をもとに、アドバイザーの先生方とも相談した上で、町民会議の今後の進め方について、資料2にまとめました。

これは、私がファシリテーターという立場で提案させていただくものですが、まず、1の進め方の基本方針として3点挙げています。

(1)として、昨年度、町民会議で整理した3つのテーマ、「観光のまちづくり」、「住みよいまちづくり」これは、子育て、教育など様々な内容が入ると思います。3つ目は「まちの行財政改革」になりますが、この3つのテーマは、今後も町民会議の議論の軸になるかと思っています。

(2)として、この3つのテーマについて昨年度の反省を踏まえて、できる限り深掘りした議論を目指したいと思っています。

最後に(3)ですが、議論の結果を何らかの形で、具体的な提案などに取りまとめて行きたいと思っています。

次に2の会議の運営方法ですが、少しこれまでと運営方法を変えたいと考えています。

まず、なかなか議論が深まらなかったという意見がありましたので、全体で議論を進める他に委員がテーマ別に分かれ、グループで議論を行う機会を設けたいと考えており、皆さんの賛同が得られれば、早速、本日の後半から実施したいと考えています。

グループの分け方ですが、3つのテーマのうち観光と暮らしは、多くの委員が直接、関心のあるテーマだと思っていますので、グループを設けたいと考えています。

なお、グループ分けは固定的とは考えていませんので、初めは観光グループでも途中で暮らしグループに移っても構いません。

残った「行財政改革」ですが、これは全体で議論すべきことでもありますし、資料2の3ページに図がありますが、これは、杉山委員が作成したのですが、結局、観光や暮らしのテーマで出た様々な意見は、行財政に関係してきますので、特段グループ分けをせずに全体で議論したいと考えています。

2の4番目ですが、町民会議の議論と並行して有志による自主的な勉強会を開催していただき、その結果などを町民会議の場にフィードバックしていただければと考えています。

アンケートでも、ワーキンググループ設置についての意見も

ありましたが、それに対する一つの提案が先ほどのグループ別の意見交換になります。

それだけでは時間的に限られますので、もう少し突っ込んだ議論をしたい。また、委員以外のメンバーも加えたいという意見があるかもしれませんので、そのような場合は、あくまでも町民会議とは別の非公式の取り組みとして勉強会を開催していただいても、結構だと考えています。

また、今年のスケジュールの終盤では、今後の町民会議のあり方についても検討したいと考えています。

限られた期間になりますが、できるだけ柔軟に会議を運営したいと考えていますので、一度決めても皆さんからの意見により、運営方法を変更することも可能ですので、意見や提案がありましたら、随時、発言をお願いします。

資料2の2ページをご覧ください。

これまでの内容を踏まえた今後のスケジュールと会議内容ですが、本日、よろしければ観光と暮らしの2つのグループに分かれて意見交換を行い、最後に全員で集まり、グループ別の意見交換の結果を共有するとともに、全体で意見交換を行いたいと考えています。

次回の日程も6月23日金曜日に決定しています。

この回は、基本的には、観光・暮らしのグループ別に意見交換を行い、最後に全体の意見交換を行う予定であり、観光・暮らしそれぞれについて1番突っ込んだ議論を行えるかと思えます。

3回目ですが、私とアドバイザーの先生方の予定も踏まえて、7月14日の金曜日を予定しています。

この回では、これまで取り上げていない行財政改革について、基本的には全体で議論を予定しており、それまでの観光・暮らしで出された意見や提案を踏まえながら、行財政にいかにか活かすのかも含めて意見交換を行いたいと考えております。

また、成果物の取りまとめ方法についてもこの回で意見交換をしたいと考えております。

その後は、9月、11月に会議を予定していますが、11月は、取りまとめた成果物を町長に提出することが想定されますので、実際の議論は、その前の9月に予定している4回目の会議までとなります。

この回は、意見・提案等の取りまとめについて意見交換する

とともに、町民会議の今後のあり方についても議論を予定しています。

スケジュールをご覧いただくと、議論を深められるのは、今回、次回、3回目がギリギリという感じになるかと思います。

可能な限り町民会議の場で深い議論をしていただき、その成果を取りまとめに活かしたいと思いますが、並行して、自主的に勉強会を行うのであれば、6月、7月中を目途に開催していただき、その結果を随時、町民会議にフィードバックしていただくと良いと思います。

一応このように考えておりますが、場合によっては、町民会議の追加やスケジュールも変更する必要がある出てくるかもしれないと考えています。

次に3の成果物のイメージになります。

何らかの成果物をまとめる場合、恐らく2つのパートに分かれるのではないかと思います。

まず、1つ目が報告書になります。これは、町民会議を開催し、各回でどのような議論をしたかなどの議論の経過を町民に伝えるような資料になります。

2つ目が、名称は別として意見書的なもので、町民会議で議論した結果をもとに、意見や提案を記載したものになります。

このうち、報告書部分は、客観的な内容ですので、場合により事務局で原案を作成することも可能だと思いますが、意見書は、皆さんの意見ですので、できる限り皆さんから意見を出していただき、委員の方に直接作成していただく可能性もあると思います。

また、意見書の内容ですが、町民会議での意見を列挙するというレベルから、皆さんの意見を提案として盛り込むレベルまで、様々な考え方があります。

何をどのように盛り込むかは、今後皆さんに決めていただきますが、例えば、ある意見に対し、全員一致して賛成するとは限りませんので、そのような場合は、このような意見・提案もあったが、一方で異なる意見・提案もあったというように、両論併記、あるいは、少数の意見・提案も排除しない形で記載することも考えられます。

最後の3ページですが、杉山委員がアンケートの回答時に作成した図ですが、大変わかりやすくまとめてられていますし、

私が考えているものとも、非常に近いので、これを使わせていただくということで、ご本人に、お断りした上で、掲載しています。

この作成意図は、町民会議で今後、何らかの目指すべき方向性を持ち、それに向けて、観光、暮らし・教育・子育て、行政改革という3つをテーマ別に検討して、最終的に繋げていくということであると思います。

皆さんの日頃の経験から、色々な意見をお持ちだと思いますが、今後の取りまとめを考えると、図の中目標部分を意識して意見交換するのが良いのではないかと考えています。

また、この図は、杉山さん個人の意見を超えて、委員皆さんで、ある程度共有すべき内容でないかと考えていますが、この図に対しても、ご意見があれば、後ほど、発言をお願いします。

アンケート結果などを踏まえた今後の進め方を私なりに提案いたしました。今後に関わることで、この段階で忌憚のない意見をいただければと思います。

まず、杉山さんの図解釈は、先ほど説明でよろしいでしょうか。補足があればお願いします。

## 委 員

作成の意図については、田中先生が説明したとおりですが、町民会議の設置目的が財政の問題から始まりましたので、目標をぶれさせないために大目標の下に、中目標として3つのテーマを置いて議論を深められればと思いました。

実際に、先ほど勉強会を13時から開催しましたが、参加者は8人で、マイクもなし、議事録も取らずに自由に発言する形で行いました。

結論から言うと、かなり色々な話を聞け、これまでの町民会議の意見をさらに深め、しかもそれはこうではないか、そうであれば実は原因はこちらにあるのではないかと言ったような各論1つ1つに対しても、結論までは行かないものの理解度が深まったと感じています。

池島先生にも参加していただき、団体自治なのか、住民自治なのかという助言もいただきました。

勉強会での一つ決め事として、行政批判、例えば、なぜこれを行ってくれないのかなどという意見は出さずに、これが出来れば良いのではないかという意見のみ出すという形で行ってみましたが、自分自身も勉強になりましたし、その心はという

	<p>部分も聞くことが出来たので手応えを感じています。</p> <p>グループ別の意見交換も同様の仕組みであれば、皆さんから色々な意見が聞くことができ、さらにその中から、意見書、提言書につながる言葉、内容をかなりの確率で抽出できるのではないかと感じました。</p>
ファシリテーター	<p>今の発言を聞いて思いましたが、この後、2つのグループに分かれて意見交換する場合、議事録は作成しない方が良いでしょうか。</p> <p>簡単なメモ程度は作成した方が良いと思いますが、町民会議本体で作成している議事録レベルのものは、あえて作成しない方が良さそうな感じがしますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>委員の皆さんは議事録を作成しても問題ないと言うかもしれませんが、このマイクを使用するのは難しいと思います。</p> <p>その場合、速記になりますので、論点のメモ程度で良いのではないかと思います。勉強会に参加された他の委員さんは、どう思われますか。</p>
委員	<p>先ほど勉強会に参加しましたが、やはりマイクが障壁になるというか、思い立って話すにも慣れないので戸惑う部分もあり、マイクなしで色々な意見が皆さんから出て議論を深め、結果として全体に盛り込めるように、うまく意見交換ができれば良いと感じました。</p>
アドバイザー	<p>グループ別の意見交換を始める前に事務局にホワイトボードか、簡単なメモができるポストイットを用意してもらえると良いと思います。</p> <p>1人の方が速記すると大変なので、委員の方が発言する際に、概要を書いてもらって貼るのも良いと思うので、可能であれば用意していただきたいと思います。</p>
ファシリテーター	<p>今日早速、用意できますか。</p>
事務局	<p>用意できます。</p>
委員	<p>資料2で今後の日程が示されていますが、大変申し訳ありま</p>

せんが、3日間、全て所用のため出席できないので代理出席は可能ですか。根本的な内容ですが、この会議は団体推薦で参加していますので、よろしいでしょうか。

企画課長

団体推薦で代表して参加していただいている中で、貴重な意見が頂けないのは、望ましくないと思いますので、代理出席も可能と考えています。

ファシリテーター

最初の3つのテーマ設定は、これまでの議論を踏襲したものですので、大きな異論はないと考えてよろしいでしょうか。

グループ別の意見交換の際も、観光と暮らし、行財政は全体で議論することもよろしいでしょうか。

委員

結局、全て行財政ではないかという話になりますし、観光の中で財政に関する意見も出ると思います。例えば、暮らしの方でも税金や補助金への意見など、色々な意見が出ると思うので、それは構わないと思います。

我々が、これまで意見交換をしてきた中で、なかなか答えが出ないと感じているのが、行財政改革アクションプランに関する内容で図の行政改革のジャンルの部分ですが、未収町税の徴収や休眠資産の活用、さらに無駄が省けるのではないかというような役場が取り組む部分に対しての意見は全部ここに入るというイメージで作成していますので行財政に関することはどの分野で意見交換しても良いと思います。

ファシリテーター

それぞれのテーマの中で、行財政も関連して話し合ってくださいと思います。

委員

観光分野の中で欠かせないのが交通機関の問題で、これは、どうしても欠かせないと思います。このため、交通機関の関係者を町民会議に参加してもらい、即答とは行かないと思いますが、そのような調整もできる様にした方が観光の方はスムーズに進んでいくと感じました。

ファシリテーター

これまでの意見を踏まえると、ご指摘のとおりという感じがしますが、町でこれまで何か打診をした経緯はありますか。

企画課長

町民会議自体は、広く、町民の方には開催を周知しています



	<p>が、交通事業者に対して個別に周知や打診などは行っていないのが現状です。</p>
ファシリテーター	<p>現実問題として、これから委員として参加してもらうのは困難な状況です。手続き論的な話としては、何か良い方法がありますか。</p>
アドバイザー	<p>勉強会に参加してもらうのが、一番対応し易いのではないのでしょうか。</p>
ファシリテーター	<p>そのために勉強会を活用する。また、可能であれば、いずれかの回の町民会議にオブザーバー的に参加していただくということがあっても良いと思います</p>
企画課長	<p>観光関係で意見を頂いておりますが、暮らしを考える上でも交通機関の役割は、非常に重要な部分であると考えております。</p> <p>現状、例えば交通事業者に代表して出席いただいても、会社の方針もあり、我々以上に、回答し難い部分があると思います。</p> <p>今、この場で、出席を依頼できないも含めて、どのような形が良いか、即答が難しいので考えさせていただいてよろしいでしょうか。</p>
企画観光部長	<p>交通事業者は2社ありますし、タクシーなど、その他の事業者もおりますので、その辺も少し調整しないと難しいと思います。</p>
ファシリテーター	<p>重要なポイントだと思いますので、検討をお願いいたします。</p>
アドバイザー	<p>この後、グループ別の意見交換を行う予定ですが、その結果を共有する必要があると思いますので、全体で少し意見交換する時間を最後にとった方が良いと思います。</p> <p>また、今後のスケジュールを踏まえると、グループ別に何を議論するか、何となくでも良いのでお題があった方が、意見を出しやすいと思います。</p> <p>このため、意見交換を行う前に、今日は、何を中心に、どこまで議論をするかについて、今、意見をもらい調整した方が良</p>

	いと思います。
委 員	勉強会は別として、グループ別の意見交換の進行は、どのように行うイメージでしょうか。
ファシリテーター	2グループに分かれますので、参加者数が違うと思いますが進行自体も、我々が行うより委員の皆さんが行い、町職員は、それぞれ付いていただきメモの作成や、質問に答えて頂くというイメージを持っておりましたが、いかがでしょうか。 私と、アドバイザーの先生は、分かれますので進行上、何かありましたら助言したいと思います。
アドバイザー	進行役を決めると発言しない方も出てしまうことも考えられますので、町民会議本体と同様、最初の口火は事務局で行っていただければ良いと思いますが、いかがでしょうか。
ファシリテーター	進行役は特別決めず、口火は事務局で行い、あとは流れに任せてという感じで良いでしょうか。 これまで、概ね私の提案に沿って進めていくという流れで意見が出ていますが、こうした方が良いなど、違う意見があれば、発言をお願いします。
委 員	図の中目標ですが、右側の暮らし、教育、子育ての方は、少し細分化された記述になっています。観光分野の方も、3項目程度記載するとバランスが取れて良いのではないのでしょうか。
ファシリテーター	観光分野は、稼ぐ部分で産業、働く場、雇用などだと思います。資料2の1ページで、私は暮らしを一言でまとめていますが、これは、教育、子育て以外の住民個々の日常に関するものが全て入ると考えており、あえて観光を分ける必要はないのかなと思いますがいかがでしょうか。 グループ別の意見交換では、暮らし、教育、子育て以外のものが出て結構ですし、観光の中で、観光ではないけれども産業に関するものが入っていても、良いと思います。大きく分けて、経済や産業、稼ぐなどが、こちらに入ってくると思います。
委 員	今年の町長の施政方針の中で計画的な行財政運営という項目がありますが、その中にアクションプランについては、改め

て箱根町行財政改革有識者会議を立ち上げて、改定作業を行うとあります。

町民会議とともにという記載もありましたが、これらの時期的な関係と意見のすり合わせを、どのように行うかにより、まとめ方が大分変わると思うので、町の意図を教えて欲しい。

企画課長

3月議会の冒頭で平成29年度の施政方針について説明していますが、イメージとしては、まず、今年度、行財政改革アクションプランの見直しを行うことは、平成27年度の策定時点で予定していたものです。

見直し作業は、夏頃から始めますが、本日の意見交換で町民会議の意見をまとめる方向性で進んでいますので、町民会議の意見をもとに町がアクションプランの見直しを行い、有識者会議で議論していただきたいと考えています。

委員

今の説明では、町民会議の意見を先に詰めてその内容も含めて有識者会議で議論するという考えで良いですか。

企画課長

イメージ的には、町民会議の方が、多少先行しているところはあると思います。この有識者会議自体は、これから委員の選考を行い、立上げるものです。

ファシリテーター

少し経緯を補足しますと、以前にも若干説明したかもしれませんが、今のアクションプランは、私が座長で策定しましたが。

その前の行財政改革の計画には、積み残しの課題があり、それをまず片付けるという内容になっています。

また、ほぼ同時並行で新しい総合計画の策定作業を行ってましたので、新総合計画の策定後、アクションプランを作り直すというのが、今年度の作業です。

恐らく私は、アクションプランの見直し作業に、また関わることになるのかと思いますので、町民会議の内容、結果等はきちんとそちらにフィードバックなり反映させることができると思います。

それでは、概ね資料2で提案させていただいた方向性や方法で、ご了解いただいたということで、当面、この方法で進めて行きたいと思います。

この後、早速、2つのグループに分かれて30～40分程度、

意見交換を行っていただき、再度、全員集まってグループ別に結果報告と全体の意見交換をして本日は終わりたいと考えています。

分かれる前に、観光と暮らし、どちらのグループ入るか挙手していただいでよろしいでしょうか。観光グループは9名、暮らしグループは6名ですので、若干、暮らしグループが少ないですが、大きな差はないので問題がないと思います。

最後に、これまでの意見交換について何かご質問等ありますでしょうか。

#### アドバイザー

この後、何を集中的に議論するか、ある程度の目安は欲しいと思いますが、特に無ければ、私の提案としては、個別の議論が2回だとすると、本日は、まず、観光、暮らしについてこれまで議論されてきた課題を再確認してはどうでしょうか。

それを共有したうえで、町民会議として最終的に何か目指すべき方向性を出すということなので、課題をもとに、どのようなレベルまで議論するのか、内容により抽象的、具体的、それぞれあると思いますが、今日、その辺りも意見交換してもらい、次回は、それを踏まえて提言に向けて内容を詰めるという2段階に分けると良いと思いました。

今の提案にこだわらずに、皆さんの考えがあれば、発言をお願いします。

#### ファシリテーター

各グループで課題を再認識して共有し、さらにその課題について、提言の方向性を考えるというイメージですね。

そのあたりを中心に、意見交換をしていただくと、宜しいかと思います。

休憩といっても時間がありませんので、基本的には移動の時間になるかと思いますが、別の会議室に移動していただき準備ができましたら初めて頂いて結構です。

意見交換の終了後、再度、集まって頂いた時に、各グループの結果を報告していただくのと、最後に町側から前回頂いた意見に対する補足説明を予定しておりますので、ご承知おきください。

(休憩後、グループ別意見交換を実施)

ファシリテーター

皆様、お疲れさまでした。

30～40分を想定していましたが、それでも時間が足りない様なので、逆に言うと、活発に意見交換を行えたのではないかと思います。

まず、観光と暮らしの各グループの意見交換の結果について、代表して報告して頂きたいと思います。まず、観光グループからでよろしいでしょうか。

委員

ホワイトボードに書いてある量を見て、意見交換が進んでいないのではないかと思われるかもしれませんが、白熱した議論を行いました。

記載してある5つの課題は、昨年度の町民会議で高橋委員から説明していただいた観光協会と町で進めている課題解決に向けての課題部分になります。

これを基に、そもそも観光が箱根町に与える影響は大きいという認識のもと、さらに町の経済を成長させて行けるのか、行くべきなのかという議論を行いました。

色々な意見が出され簡単には集約できないので、高井教授に好循環サイクルという助言をいただきました。

投資が増え地価も上がり、良い施設が増え観光客も来て、最終的に人も消費も増え、税収も上がる。それを観光で実現できるはずだし、今までも行ってきたという意見が出ました。

今回は、その好循環サイクルを創るために観光分野で何をしなければいけないのか。何をすべきなのか。一方で身の丈に合ったことも考える必要があるということで、少し抽象的な終わり方になりましたが、そのような取りまとめとなりました。

ファシリテーター

観光グループで意見交換された方で、ただ今の報告に補足がありましたらお願いします。

アドバイザー

暮らしグループとの関連ですが、繁忙期では現在も渋滞が激しく、町民生活にも影響があり、その点では、暮らしグループと観光グループは関連するという意見がありました。

2つのグループに分かれています。箱根町は観光業が基幹産業で町民の多くの方が観光に携わっており、当然、交通渋滞は生活にも影響するので、どちらに重きを置いて課題を捉えるかの違いであると思います。

ファシリテーター

観光と暮らしのバランスが、重要であるということですね。観光の方でほかに何か補足事項はありますか。それでは、暮らしグループの報告をお願いします。

委員

言い古された部分もあるかと思いますが、箱根町としての永遠の課題でもあり、その辺はご容赦頂きたいと思います。

池島先生の助言のもと、課題を4点整理しました。1点目は、教育問題、特に高校生以降の支援が少なく親への負担が急に大きくなるという意見がありました。2点目は、観光ともリンクしますが国道1号線の交通問題、3点目が、買い物、福祉、医療などの生活の問題、4点目は、住宅問題が課題として出されました。

これらに対する町の長所ですが、最大の長所は豊かな自然があること。加えて子育て支援の方も中学生までの子育て支援のレベルは非常に高いこと。さらに、Iターン者が増えている部分も見受けられるので、これまで広い世界で経験をされたノウハウなどを地元とリンクして何かできないか模索してはどうかという意見もありました。

提言に向けての目標については、「良い教育で人を呼び込む」ということの1例として、塾へ通うことが非常に親御さんの経済的・時間的な制約とっている部分が多いので、そのようなものが無くても子供たちが高いレベルに進めるような、教育の内容の充実を目指してはどうか。

この他、「コミュニティービジネスの育成」と「観光資源を生かした生活の豊かさ」という方向性が提案されましたが、補足は池島先生にお願いしたいと思います。

アドバイザー

補足の必要もないくらい説明していただきましたが、最後の目標の部分は、色々な議論が出ましたが方向性を出すのが難しいと思いましたので、私の方で少しまとめています。

1点目の「良い教育で人を呼びこむ」は、3点目の目標とも関係してきますが、箱根のいわゆる資源・魅力を活用したすばらしい教育をより進めていくことで、定住者が増えることが望ましいのではないかとこの目標になります。

2点目のコミュニティービジネスは、人口減少と高齢化が進行している中で、採算にあわず出店する事業者も少なくなりますので、住民同士で、何かできることを支え合うことができな

いか。

ただし、ボランティアのみでは、ボランティア疲れもありますので、少額であってもお互い報酬を出し合いながら、生活支援をしていくことも考えてはどうかという目標になります。

3点目は、観光業は1つの資源なので、それを取り込む形で生活の豊かさを追求するという目標を立ててはどうかということになりました。

ファシリテーター

ありがとうございました。

各グループの意見交換の結果を報告していただきましたが、例えば、他のグループに対して、少し質問があるとか、報告を踏まえて、改めて意見があればお願いします。

確認ですが、各グループとも今後に向けて、このような方向で議論なり、個別に考えてくることは決定しているということによろしいでしょうか。

アドバイザー

暮らしの方でも、交通問題が解決すれば、色々な所で良い波及効果があるという話がありましたが、観光の方でも当然ながらそのような話が出たので、やはり交通問題というのは、大きな課題であると感じました。

アドバイザー

箱根町の経済活動のメインが観光ということで、これは経済活動としての生産活動の側面を表しています。

一方、夜自宅に帰って朝出勤するまでは、当然、労働者ではなく生活者として家族を養うという顔を持っており、出勤から帰宅を境に観光と暮らし両方の側面があると思います。

経済学では、これらを企業、家計と言いますが、もう一つの経済主体は政府で、今回のケースでは箱根町になります。

箱根町、行政がすべきことは、企業・家計間のマーケットを介した流れでは、供給できないものを町が提供することです。

教育、医療、福祉、道路や治安維持などは、マーケットでは誰も担わないので、その供給は町の役割となります。

それでは、町は、供給する内容をどのように決めるかということ、選挙を通じて決定します。選挙の時には、生産者、生活者の顔の他にもう一つ、主権者の顔があります。それが箱根町との関わりになりますので、今回の場合は、行政改革になりますが、この三つの顔は、相互に切り離せない、表と裏のような関係にありますので、したがって、皆さんが検討している課題は

重なっていると言えます。

観光、暮らし、行財政改革は三つが全てつながっており、どの側面から見るか、どこを中心に見るかの違いです。日中は生産者としての顔だけれども、夜になると生活者の顔になるし、選挙があると主権者の顔となるということです。そのような関係にあることを、頭に置いていただきたいと思います。

また、町への関わり方ですが、1番身近な代表は、議員さんですので、課題があれば、法定の制度である請願、陳情という制度により議員さんを通じて町議会で取り上げてもらうこともできます。

この町民会議では、所管課長がいない場合も多く、直接、やりとりが出来ない部分もありますので、あまり町に対する苦情などに時間を費やすのはもったいないので、請願、陳情という制度を使うこともできるということをお伝えしたいと思いました。

委員

今の説明で腑に落ちた部分がありますが、今年、町議選挙がありますので町民会議の各論それぞれを議員さんをお願いするには、良い機会だとは思いますが。

一方で町民会議として町長に対して意見書を提出する方向性は決定しましたので、議会に対しても、我々は、このような議論をして町に意見書を提出しましたが、議会も早急に動いてくださいということと同時に行ってはいかがでしょうか。

ファシリテーター

多分、問題がないと思いますが、皆さんいかがでしょうか。

アドバイザー

町長に意見書を提出すれば、町側も次の議会で町民会議の結果報告を行うと思います。また、皆さんから議員さんに伝えておけば、議会で質問が出され、事実上、全議員に共有されるのではないかと思います。

ファシリテーター

もちろん情報は伝わるとはと思いますが、議会側では町が町民会議を設置したので、町側の管轄の話と捉えると思われそうです。

このため、行政側が設置した会議なので一般的には行いませんが、あえて議会宛にも意見を出しても面白いのではないかと思います。誰に向けてどのような意見を出すかは、是非、今後、議論していただきたいと思います。



確認ですが、本日の各グループの結果は、事務局で簡単なメモを作成してもらい、お互いに共有した方が良いと思います。

次回は6月なので、委員さん個々に考えてきていただく部分もあると思いますので、早めに作成して送付して頂きたいと思います。

次回は6月23日になりますが、この間、勉強会を開催し、委員以外の方も含めて、あるいは委員の方で集まって議論することは、どんどん行っていただいても結構ですので、それは個々に連絡を取り合っていただければと思います。

完全な勉強会の場合は、多分、役場の職員がつくというものではないと思いますので、それは事務局と相談していただきたいと思います。

委員

個人的には議論は沢山するとは思いますが、本日、事前に勉強会を行って町民会議に臨んで良かったのは、それぞれの意見の整理ができて論点を絞れたことだと思います。

勉強会を別途開催するのは難しい部分がありますので、次回も可能であれば町民会議を遅い時間からの開始とし、その前に勉強会を開催した方が良いのではないかと思います。

ファシリテーター

今日と同様のスケジュールという意見がありましたが、皆さんいかがでしょうか。

委員

今日のスケジュールと同様であれば、商売の関係もあるので17時終了に出来ないでしょうか。

ファシリテーター

終了時刻は17時を基本として、場合によっては少し伸びることもあるかもしれませんが、なるべく17時に終了するようにしたいと思います。それでは、観光と暮らしに分かれての意見交換については、これで終了にしたいと思います。

## (2) その他

### 平成28年度第4回町民会議の意見等に対する補足事項について

ファシリテーター

最後にその他として、資料3がございますので事務局から説明をお願いいたします。

事務局

事務局から資料3をもとに平成28年度第4回町民会議での発言内容等に対する所管課への確認結果について説明した。

ファシリテーター

ほぼ終了時間になっておりますので、質問等がありましたら、事務局の方に直接、お問い合わせ頂きたいと思います。

次回は、6月23日ですが、先ほど時間について要望がありました。17時終了を考えた時に、町民会議は2時間では少し短いと思います。このため、少なくとも14時30分開始ということで、そうなると勉強会は、13時開始で最大で1時間30分ということになります。よろしいでしょうか。

委員の皆さん、町側もよろしいでしょうか。次回の時間については、そのようにしたいと思います。

それでは、本日の議題は終了しましたので、事務局の方にお返しいたします。

### 3 閉会

企画課長

本日は、お忙しいところ、長時間にわたりましてご議論いただきましてありがとうございました。

本日は、今後の進め方、方向性がまとまりましたが、今後も6月、7月と会議が続きます。お忙しいところ申し訳ありませんが、引き続きご協力をお願いいたします。

それでは、平成29年度、第1回目の町民会議をこれで終了させていただきます。